

日朝ピョンヤン宣言 16 周年集会

呼 び か け

朝鮮半島における平和への流れを確かなものに

今年に入って始まった朝鮮半島の対話への動きは4月の南北首脳会談、6月の米朝首脳会談へ結実しました。

昨年まで、一触即発の戦争危機さえはらんでいた状況からすれば歓迎すべき大転換です。何より、朝鮮民主主義人民共和国の建国から70年に渡り、砲火を交え銃口を向けあってきた米朝首脳が歴史上初めて対面し、両首脳の名により包括的な目標が示されたことは画期的です。

マスメディアの多くは、もっぱら「北朝鮮の非核化」のみに焦点をあて、一方的にCVID(完全かつ検証可能で後戻りできない非核化)が明記されていないことなどを取り沙汰しています。

しかし、米朝共同声明の4項目は同時的かつ段階的に進められることが必要であり、その信頼醸成があってはじめて「朝鮮半島の完全な非核化」も実現可能です。後続交渉では、朝鮮戦争の終結、停戦協定の平和協定への転換、国連軍司令部の解体や在韓米軍の撤収または何らかの地位変更問題などもまな板の上にとらざるを得ないでしょう。

私たちは、朝鮮半島の非核化を含む「完全かつ検証可能で後戻りできない平和体制構築」を後押しすべきではないでしょうか。

安倍政権は朝鮮半島の平和への動きを妨害するな

私たちは、この間まったく蚊帳の外で右往左往してきた安倍政権が、拉致問題を政治利用し日朝首脳会談を模索するポーズをとりながら、依然として朝鮮敵視政策をとり続け、これを利用して軍拡の道を走り続けていることを厳しく糾弾します。また「制裁」の名による在日朝鮮人への人権侵害も後を絶ちません。6月28日には関西空港税関支署が、祖国へ修学旅行した神戸朝鮮高校の生徒たちのお土産品まで没収しています。

安倍首相は、拉致問題を日朝交渉の入り口としてすべての上に置いてきましたが、それ自体が日朝ピョンヤン宣言の歪曲であり、拉致問題も含め日朝関係が一步も進んでこなかった要因です。

私たちは、日本政府が、南北・米朝首脳会談で確認された朝鮮半島の平和体制構築と完全な非核化実現のために積極的役割を果たし、日朝ピョンヤン宣言に基づき、不幸な過去の清算を基礎とした日朝国交正常化交渉を速やかに再開することを強く要求します。

重大な転機の中の9・15日朝ピョンヤン宣言16周年集会へ多くの皆さんの参加・賛同を！

●賛同費 個人1000円／団体3000円

●郵便振替 00110-8-140618 [日韓民衆連帯全国ネットワーク]

*「9・15 集会賛同」と明記してください

4・27 南北首脳の板門店宣言要旨

①南北の交流と協力、②南北の軍事的緊張緩和、③朝鮮半島の恒久的で強固な平和体制構築のため協力することで合意し、「南北は停戦協定から65年にあたる今年、終戦を宣言し、停戦協定を平和協定に転換」するため南北と米国の3者または南北と米中の4者会談の開催を積極的に推進することや「南北は完全な非核化を通じた核のない朝鮮半島を実現するという共通の目標」を確認しました。

6・12 米朝首脳の共同声明要旨

「新たな米朝関係の確立が朝鮮半島および世界の平和と繁栄に貢献すると確信するとともに、相互の信頼醸成によって朝鮮半島の非核化を促進できる」との認識の上に、①米朝は新たな関係の確立に全力を挙げる、②米朝は朝鮮半島の平和体制構築に向けともに努力する、③朝鮮は4・27板門店宣言を再確認し、朝鮮半島の非核化に全力で取り組む、④米朝は戦争捕虜・行方不明米兵の遺骨収集と返還を進める一の4項目を宣言しました。

9・15日朝ピョンヤン宣言16周年集会に賛同します 【個人・団体】

氏名(団体名)

連絡先

●一言メッセージ

肩書き

電話

氏名(団体名)公表【可・否】